

Seeds 回転型胸部支持パッドを有する トレッドミル型歩行訓練機の開発

Keywords 歩行訓練, 歩行リハビリテーション, トレッドミル歩行

01 本研究の適用分野・用途

- 脳血管障害患者の歩行訓練
- 支持パッドに上半身を預けているため、下肢部への負担を軽減できる
- 自立歩行を目指す歩行リハビリテーションの実現
- 寝たきり防止

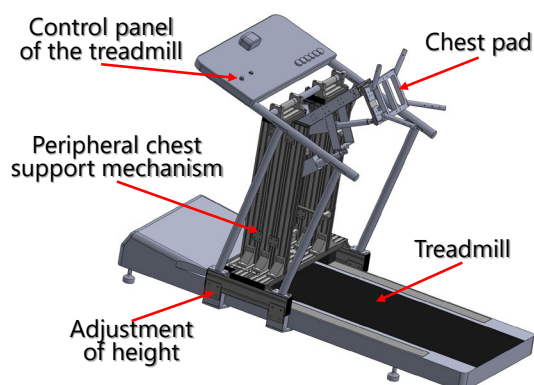
02 アピールポイント

利用者の下肢部をトレッドミルで反復に運動させるという従来の手法と異なり、本シーズは利用者の上半身と下肢部のリズム的な連動を重視する観点に基づいて回転可能な胸部支持パッドを有するトレッドミル型歩行リハビリテーション機器を開発した。

研究概要

【本技術の特徴】

人間の歩行運動は上半身と下肢部とのバランスを取りながらリズム的な運動によって成り立っており、この観点から下肢部だけの運動訓練を重視する従来の方法は利用者の自立歩行をめざすリハビリテーションとして十分とは言えない。本シーズは、回転可能な胸部支持パッドを有するトレッドミル型歩行リハビリテーション機器を新たに開発した。さらに、本機器は下肢部への負担を軽減する免荷式でありながら、利用者上半身の吊り上げは不要となるため、装置はコンパクトになる。



KINDAI
UNIVERSITY

近畿大学工学部
(広島キャンパス)

ロボティクス学科

教授 黄 健 (こう けん)

